

レールスライド工法

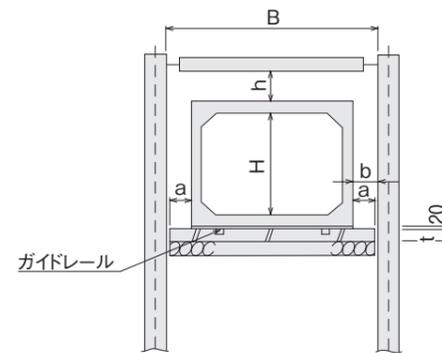


特長

通常敷設ができない場所（狭隘な場所・橋梁下横断）等でレッカー据付が不可能な場所において、基礎にレールを設置しその上に台車および函体を乗せ横移動させる「レールスライド工法」です。本工法における据付は、爪ジャッキ4台を使用します。

- ① 環境に配慮**
 常時重機を使用せず、レール上の台車を利用して移動させるため、ほこりや騒音・振動などの心配はありません。
- ② 安全な施工**
 移動装置は基礎に埋め込んだ角鋼の上に、函体重量に適した台車を設置し横移動させるため、コンパクトで安全です。
- ③ 施工性を考慮**
 レールと台車との摩擦抵抗が小さいので、小型のウインチで横移動が可能であり、曲線施工は最小半径10mまで可能になります。
- ④ 現場対応が可能**
 使用する機械がコンパクトなため、現場条件の変化に対応できます。
- ⑤ 用途**
 下水道・河川水路・防火水槽・貯留槽 等の函体で狭隘な場所・覆工桁下の道路横断・橋梁下の横断 等に対応できます。

● 施工条件



名称・寸法位置	爪付ジャッキアタッチ使用
a 製品外面より基礎コンクリートの張出距離	200mm以上
b 製品外面より矢板内面までの距離	600mm以上
h 製品天端より切梁下面までの距離	200mm以上
B 矢板最小内幅	製品外幅+1,200mm以上
H 製品の最小内高～最大内高	特に制限なし
t 基礎コンクリートの厚さ	標準基礎寸法に順ずる
製品質量の制限	10t以下
最大施工縦断勾配	5%（ウインチの併用）

施工手順

- ① 基礎鋼材設置**
 ●床付け盤よりアンカーを取り、ガイドレールを設置する。
 - ② 基礎コンクリート打設**
 ●ガイドレール設置天端より、20mm下がり为基础コンクリート打設天端とする。
 - ③ 移動台車設置**
 ●台車の前後を連結し、作業開始位置のガイドレール上に設置する。
 - ④ 製品荷卸し**
 ●台車上に荷卸クレーンで、製品を設置する。
 - ⑤ 横引き移動**
 ●人力またはウインチの併用で所定位置まで移動する。
 - ⑥ 製品据付**
 ●敷モルタルを敷設し、所定位置迄移動後、4台の爪付ジャッキで、製品をジャッキアップする。
 - ⑦ 据付完了**
 ●ジャッキダウン後、爪付ジャッキを外し、所定の位置に設置する。
- 移動台車を取り除く。
- ③ に戻る

レールスライド工法

施工事例

ボックスカルバート施工



上部（切梁）余裕が無い場所



水路内施工（曲線部）の場所



外面（鋼矢板）余裕が無い場所



道路使用ができない場所



外面（鋼矢板）余裕が無い場所



道路使用ができない場所



外面（鋼矢板）余裕が無い場所



道路・空き地使用に制限がある場所



道路横断（覆鋼板下）の場所



2~3箱体のみ施工の場所

特殊L型擁壁施工



基礎鋼材 設置状況



L型擁壁 荷卸し状況



移動台車に設置状況



横引き状況



据付完了

水路用L型施工



基礎鋼材 設置状況



L型擁壁 荷卸し状況



移動台車に設置状況



横引き状況



据付完了

- カルバート
- 道路側溝
- 防護柵
- 道路擁壁
- 補強土
- のり面
- 共同溝
- 消・融雪
- 用排水
- ため池
- 生態系
- 護床・その他
- 新材料
- 台車運搬
- 横引き**
- 推進
- 沈埋
- 地盤改良

- カルバート
- 道路側溝
- 防護柵
- 道路擁壁
- 補強土
- のり面
- 共同溝
- 消・融雪
- 用排水
- ため池
- 生態系
- 護床・その他
- 新材料
- 台車運搬
- 横引き**
- 推進
- 沈埋
- 地盤改良